

平成27年度 決算報告書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

* 千円未満四捨五入 △=減

(1) 経常収益は、前期より2489万5千円少ない2260万7千円でした。主な理由はアフラックからの委託金や寄付金の計1700万円近い減収です。

経常収益の主な内訳は

- ① 基本財産運用益が、国債の受取利息459万4千円。
- ② 受取会費は毎日新聞社、東京放送、毎日放送の各賛助会員から925万円。
- ③ 事業収益は、アフラックから委託を受けていた電話相談事業収益の年度をまたがって残っていた427万7千円、武蔵野市認知症相談事業収益の165万2千円など計615万2千円。
- ④ 受取寄付金は、アフラックからの寄付金がゼロとなり6万1千円。
- ⑤ 受取補助金等は公益財団法人JKAからの受取民間補助金が165万1千円。

(2) 経常費用は、事業費が3330万8千円、管理費が504万6千円の計3835万3千円で、前期よりマイナス937万6千円でした。主なものは事業費の賃借料（事務所の家賃）が415万5千円、電話相談員の報酬など諸謝金869万円。増減で見ると、赤字幅を抑えるためシンポジウムの開催を見送ったことが大きく、旅費交通費、印刷製本費、諸謝金、委託費等が軒並み減額となりました。

(3) この結果、経常収益から経常費用を控除した当期経常増減額は、評価損益等調整前はマイナス1574万7千円でしたが、国債の評価益6512万3千円がプラスとなり、評価損益等調整後の当期経常増減額は前期の2427万8千円より2509万8千円多い493万6千円でした。

(4) 経常外収益、及び経常外費用はともにありませんでした。

(5) 当期末の資産は、流動資産が3499万5千円。固定資産は、基本財産4億1754万3千円、特定資産234万5千円、及びその他固定資産（リース資産ほか）391万1千円で、固定資産合計は4億2379万8千円。資産合計は4億5879万3千円。負債は前期より537万7千円少ない372万9千円。この結果、正味財産合計は、前期比プラス4937万6千円の4億5506万4千円となっています。